

授業科目 運動機能解剖学

【担当教員名】 阿部 薫	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
 生理学および解剖学の知識をもとに、身体運動に関する機能解剖学と運動学について総合的に学習する。

- 【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
1. 身体運動に関与する骨、関節形状について説明できる。
  2. 四肢、体幹の主動作筋および神経支配について説明できる。
  3. 関節可動域について説明できる。
  4. 徒手筋力検査について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	全身骨格について	1	講義
2	関節形状について 1	1	講義
3	関節形状について 2	1	講義
4	上肢の主動作筋および神経支配 1	2	講義
5	上肢の主動作筋および神経支配 2	2	講義
6	手指の主動作筋および神経支配	2	講義
7	体幹の主動作筋および神経支配	2	講義
8	下肢の主動作筋および神経支配 1	2	講義
9	下肢の主動作筋および神経支配 2	2	講義
10	上肢、手指の関節可動域	3	講義
11	体幹、下肢の関節可動域	3	講義
12	関節可動域検査法	3	講義と実習
13	徒手筋力検査 1	4	講義と実習
14	徒手筋力検査 2	4	講義と実習
15	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	基礎運動学第6版	中村隆一ほか	医歯薬出版	2003年 6,800円
参考書	身体運動の機能解剖学改訂版	中村千秋ほか訳	医道の日本社	2002年 4,300円
	カバンディ関節の生理学(3巻セット)	萩島秀雄訳	医歯薬出版	2001年 15,100円
その他の資料				

【評価方法】 授業態度、小テスト、筆記試験、実技試験によって評価する。	【履修上の留意点】 義肢装具および福祉機器・用具を理解する上で、基本となる重要な分野のため、よく復習し、完全にマスターすることが望まれる。
--	--

義肢装具自立支援学科 専門